

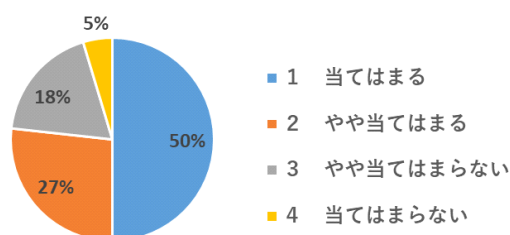
令和5年度 学校自己評価〔保護者アンケート〕の結果

- 1 実施日 11月下旬
- 2 対象 全校196家庭中 89家庭回答 回収率45.4%
- 3 内容 グランドデザインの振り返り

質問1 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと感じていますか。

多くの保護者が、子どもは楽しく学校に登校していると感じている様子がわかる。昨年度より「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた方が微増している。
一方で、23%の家庭では「あてはまらない」「ややあてはまらない」と感じている。その気持ちの背景を察して大切に考えていく必要がある。

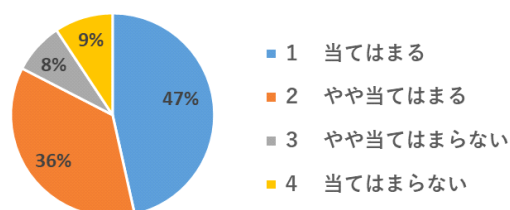
1 お子さんは、学校に行くのが楽しいと感じていますか？



質問2 お子さんは、学校で好きな授業があると感じていますか。

全体の割合は、昨年度と同様に「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた保護者が多くみられ、生徒のアンケートと同じような傾向がみられる。生徒がやりがいを感じ、達成感を持てるような工夫をしていきたい。

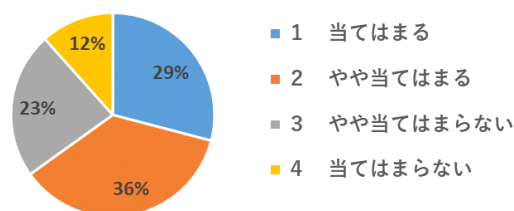
2 お子さんは、学校で好きな授業があると感じていますか？



質問3 お子さんは学校の授業の内容がわかるようですか。

昨年度よりも「当てはまる」「やや当てはまる」の割合が増えている。一方で、「あてはまらない」や「どちらでもない」の割合が全体の約3割以上を占める。子どもの学習面でのつまずきを感じている保護者も多いことがわかる。
日々の授業改善を行ったり、きめ細かい支援を続けたりしていきたい。同時に家庭学習の習慣がない生徒が多く見られるので、ご家庭との連携の仕方について考えていきたい。

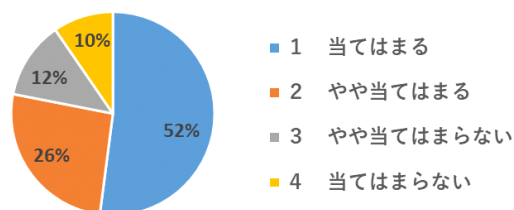
3 お子さんは、学校の授業の内容がわかるようですか？



質問4 お子さんは、勉強と部活動・習い事が両立した生活を送っていますか。

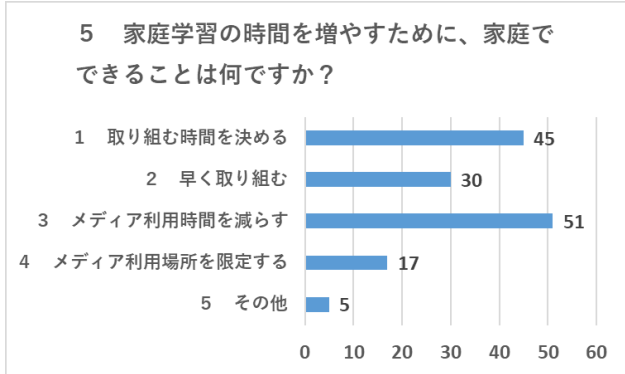
昨年度と同様に、8割くらいの保護者が両立できていると感じている。また、「当てはまる」と答えた家庭が昨年度より増えている。全体的には、生徒がバランスよく活動できているといえる。
逆に、両立できない理由としては、活動による疲れや時間の使い方などが挙げられる。
生徒や保護者との懇談を通して、実態を把握したうえで、改善策を検討していきたい。

4 お子さんは、勉強と部活動や習い事を両立した生活を送っていますか？



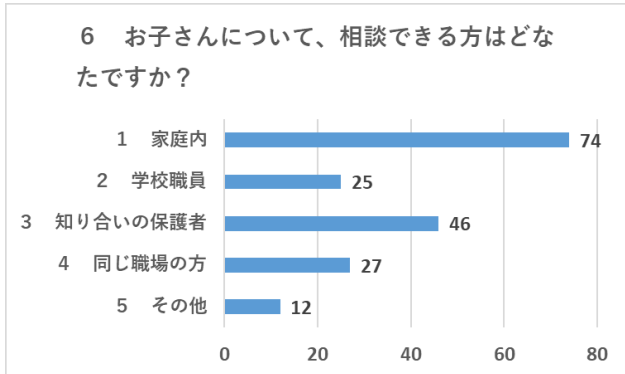
質問5 家庭学習の時間を増やすために、家庭でできることは何ですか。

最も多いのは「メディア時間を減らす」であり、昨年度と同様の結果となった。約6割のご家庭で同じことを感じている実態があるので、常にメディア利用のあり方について啓発を行う必要性を感じる。また、時間の使い方についても工夫させていきたい。



質問6 お子さんについて、相談できる方はどなたですか。

74家庭と多くの家庭が家庭内での相談ができています。また、家庭以外の相談相手も多いことがわかる。
誰かと相談することが難しい家庭については、特に学校が中心となって窓口を広げていく必要がある。
学校が相談できる場所として、相談しやすい雰囲気づくりや保護者から信頼されるように努力をしていかなければならない。



質問7 学年・学級だよりやホームページ等により、学校の取り組みや生徒の様子が適切に伝わっていますか。

「当てはまる」と答えた家庭が昨年度より10%以上増えている。学校の取り組みや生徒の様子がおおむね伝わっていることがわかる。
しかし、お便りが保護者の皆様に確実に届かないという声もあるので、確実に届くように配慮したり、様子がより適切に伝わるように工夫したりしていきたい。

